

2005/2006 年のオホーツク海の海氷について

～今シーズンのオホーツク海の海氷面積は過去最小～

オホーツク海の 2006 年の海氷シーズン（2005 年 12 月～2006 年 5 月）の積算海氷域面積が過去最小となりました。

オホーツク海の2006年の海氷シーズン（2005年12月～2006年5月）の海氷域面積は、1971年に統計を開始以来最小のレベルで経過しました。シーズンを通した海氷の広がり具合を把握する目安となる、前年12月から5月まで積算した海氷域面積^{注）}は、下表の通り、平年の64%にとどまり過去最小となりました。また、今シーズンの最大海氷域面積も3月10日の90万3000km²で、1984年の85万8100km²について2番目に小さい記録となりました（図1）。

第1位	2006年	平年の64%の面積
第2位	1996年	平年の66%の面積
第3位	1991年	平年の71%の面積
第4位	2005年	平年の73%の面積
第5位	1984年	平年の74%の面積

表：統計期間：1971 年～2006 年におけるオホーツク海の海氷シーズンの積算海氷域面積の小さい順

注）積算海氷域面積：12月初めからの5日毎の海氷域面積の合計値。5月末までの値をそのシーズンの海氷の勢力を表す指標として統計に使用している。

このように海氷が少なくなった大きな原因は、以下の通りと考えられます（図2）。

- ①シーズン初期のオホーツク海の気温、海面水温が平年より高く経過したため、結氷及びその後の海氷域の拡大が遅れた。
- ②2月中旬から3月下旬まで北日本周辺の気温が平年より高く経過したため、北海道周辺の海氷の融解、後退が早く始まり、北海道周辺における海氷面積が例年になく小さかった。

オホーツク海の海氷域面積は、10年程度の周期を持つ変動が卓越しており、長期的な変化傾向は明確には観測されていません（図3）。

なお、本件の詳細は、下記ホームページでご覧になれます。

海洋の健康診断表・臨時診断表 2006 年 6 月 23 日 2005/2006 年のオホーツク海の海氷について
(http://www.data.kishou.go.jp/kaiyou/shindan/rinji/2006_no1/seaice200606.html)

本件に関する問合せ先：地球環境・海洋部 海洋気象情報室（担当 榎田）
電話 03-3212-8341（内線5156）

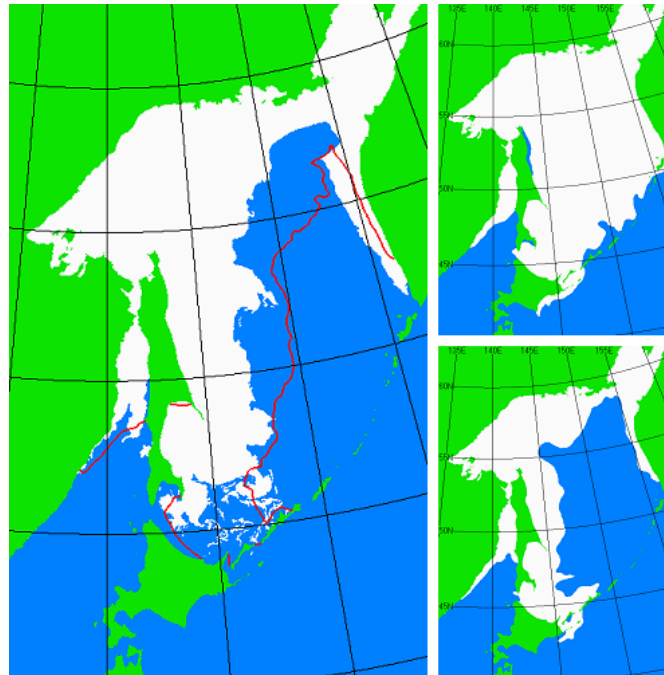


図1 最大海氷域面積時の海氷域分布

左：今シーズン最大（2006年3月10日）90万3000km² 赤線は3月10日の平年値
 右上：過去最大（1978年2月28日）152万2500km²
 右下：過去最小（1984年2月25日）85万8100km²

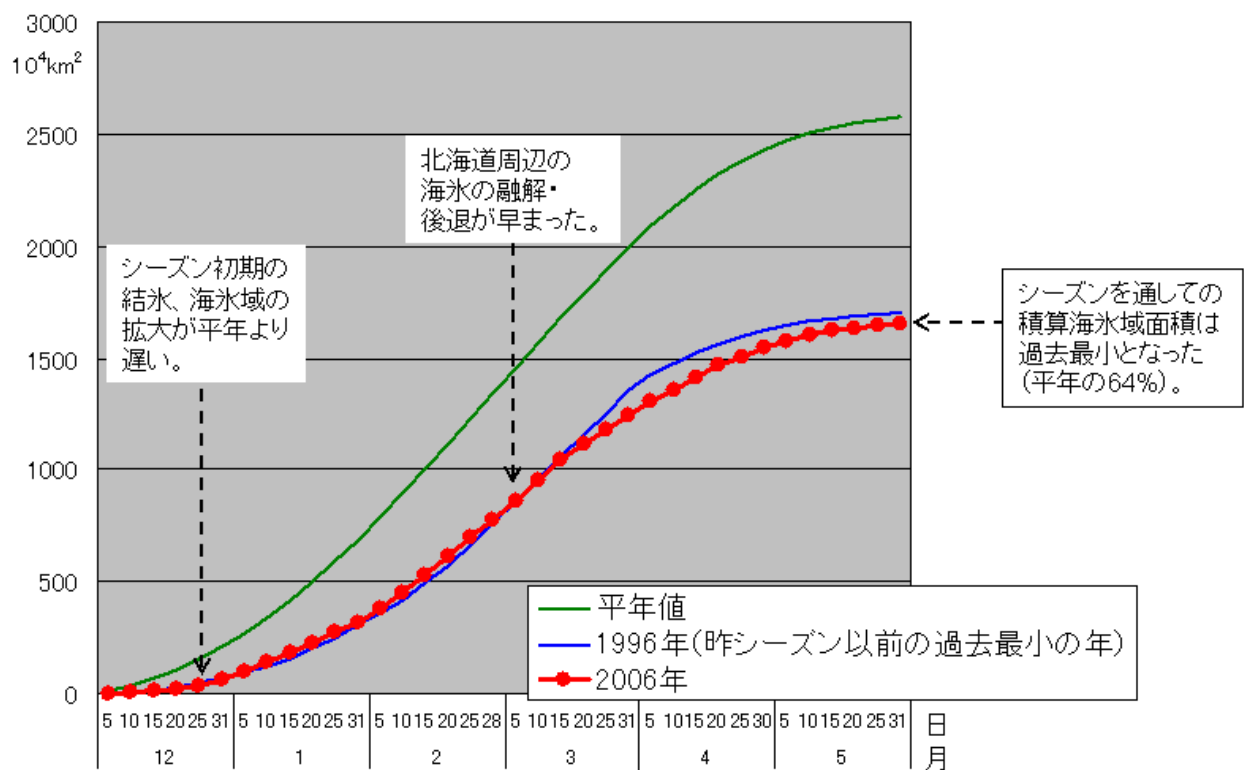


図2 オホーツク海の積算海氷域面積の推移

積算海氷域面積は、シーズン当初（前年12月）からその時点までの5日ごとの海氷域面積の合計値。赤色の線は2006年の推移、青色の線は1996年（昨シーズン以前の過去最小の年）の推移、緑色の線は平年値（1971年～2000年の30年平均値）。

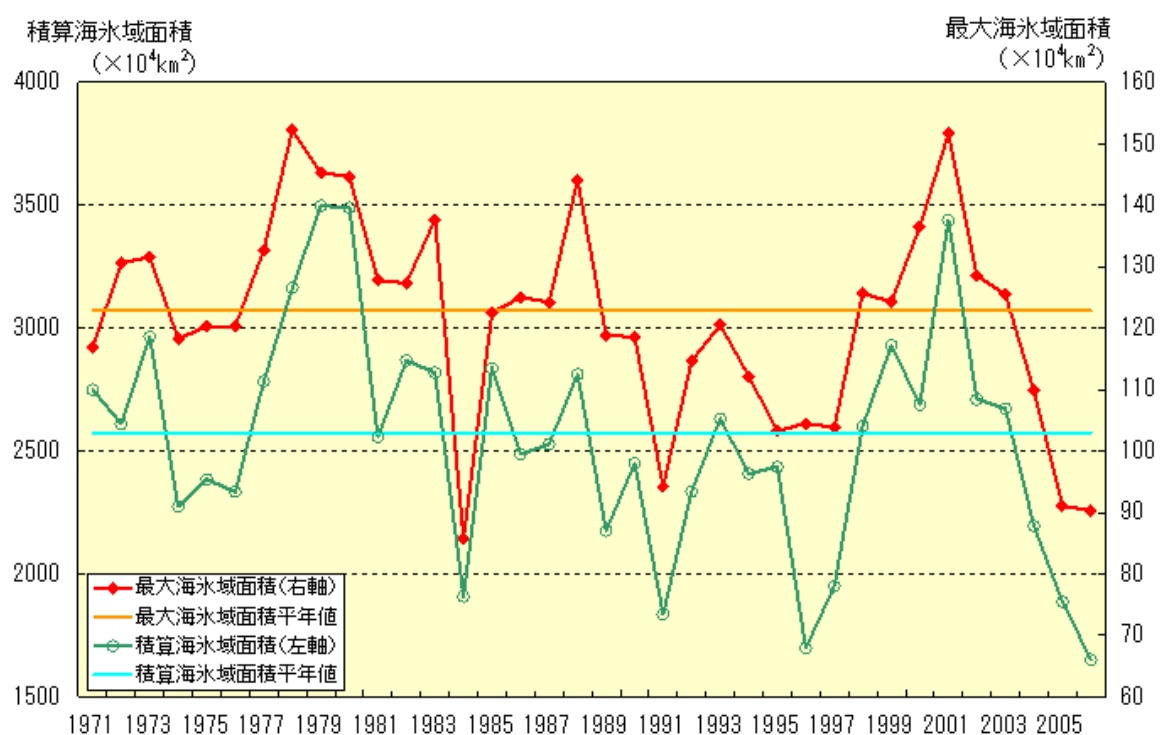


図3 オホーツク海全域の海氷域面積の経年変化(1971年～2006年)